

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成28年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(飯田建設事務所)
指定管理者	株式会社 うるぎホープ

1 施設名等

施設名	長野県南信州広域公園	住所	長野県下伊那郡売木村2653-3
		電話	0260-28-2455
		ホームページ	http://www.hosihinomori.jp/

2 施設の概要

設置年月	平成11年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	オートキャンプ場 テントサイト(個別サイト、キャラバンサイト、フリーサイト)、キャビン、大型キャビン、センターハウス 芝生広場、大型木製遊具、展望台、遊歩道 開園面積:53.8ha		
利用料金	有料施設:テントサイト、キャビン、会議室(施設により料金は異なる。)		
開所日	水曜日(水曜日が休日に当たるときは木曜日)、休日の翌日、12月1日から翌年4月第3土曜日の前日までを除く毎日		
開所時間	8:00～21:00(宿泊有の場合)		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	みなみ信州農業協同組合
平成18年度～20年度	指定管理	みなみ信州農業協同組合
平成21年度～23年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	株式会社 うるぎホープ	指定期間	平成24年4月1日～29年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1者)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成28年度(A)	平成27年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
26,707千円	26,912千円	-205千円	
	増減理由	経費縮減による支出の削減	

6 指定管理者が行う業務

都市公園等(備品を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務 オートキャンプ場の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度(A)	1,410	3,003	1,357	4,501	9,175	2,792	2,325	1,053					25,616
平成27年度(B)	539	2,785	997	4,007	8,693	3,579	2,342	1,063	冬季休業				24,005
(A)/(B)	261.6	107.8	136.1	112.3	105.5	78.0	99.3	99.1					106.7
増減要因等	平成28年度は昨年度に引き続き、春から夏にかけての利用者が大幅増となった。前年度の平成27年度は、ここ数年にない連休(ゴールデンウィーク及びシルバーウィーク)の多い年で利用者増加したが、本年度はプーム的な要因も大きく実質的な増加が顕著となった。												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度(A)	2,180	4,472	2,086	6,602	13,164	4,419	3,630	2,024					38,577
平成27年度(B)	977	3,910	1,540	6,465	12,460	5,137	3,628	2,025	冬季休業				36,142
(A)/(B)	223.1	114.4	135.5	102.1	105.7	86.0	100.1	100.0					106.7
増減要因等	平成28年度も全体を通して比較的天候にも恵まれ、4・5月、および7・8月で特に収入増。特に中心提供施設であるオートキャンプ(個別)サイトの利用増が大きな要因となった。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成28年度(A): 210日	平成28年度(A): 8:00~21:00(宿泊有の場合)	無	
平成27年度(B): 209日	平成27年度(B): 8:00~21:00(宿泊有の場合)		

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク及び夏期シーズン限定で村営日帰り入浴施設への利用者搬送サービスを7年目継続実施し、前年比より多くの利用人数(1,376人;前年比112%)を搬送した。 ・レンタル品提供サービスとして、初心者対象にてスタッフ設置サービス付きのレンタル品一式レンタルを実施しているが、平成28年度はこれまで最多の利用人数(169人;前年比125%)の対応を行った。

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・利用増に伴い問題となってきた芝生の枯死対策に対し、平成25年度から27年度にかけて補植を継続的に実施(3か年計で約1,800㎡)してきているが、H28年度も約600㎡芝張替を実施した。夏の稼働により再び損傷が見られるので、引き続き今後も継続して実施する予定。 ・老朽化の進む修繕を積極的に実施した(建物外壁塗装、給水設備の部品取替え、看板の取替え等)。
--

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等の為、遊具が新しく更新されてきておりありがたい。⇒平成27年度展望台、アスレチック遊具、平成28年度複合遊具等が更新された。残りも継続して修繕予定。 ・フリーWifiがあると便利。⇒センターハウス館内のみでの対応導入を検討中。 ・サイト内の芝がなくなってきている。⇒追いつかない状況であるが、芝張替を毎年継続中。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書、及び事業計画書の内容に沿った維持管理に努めた。利用者増加に伴いより頻度が増すと思われる清掃、及び夜の巡回、設備点検等の複数回実施に心掛けた。	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	高需要期の利用予約の取りづらさ、利便性を向上させるため、ゴールデンウィーク、お盆付近の一部期間のキャンサイトの利用枠については、予約申込後の抽選制度を継続して実施。また高需要期の利用機会をより多くの方への目的で利用数上限枠(3サイト)を設けて受入を行った。	抽選制により、平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。	A
利用者サービス向上の取組	・利用者からの滞在時間枠の延長要望に応えるべく、閑散期においてテント宿泊利用者向けに延長利用サービスを割引料金にて実施しており、多くの方に利用されてきている。 ・リピート利用促進の為会員サービス制度を設けており好評得ているが、さらに特典内容の見直しを含め拡充していきたい。	サービス向上に向けて、柔軟な取り組みで対応していることは評価できる。	A
自主事業	・トレーラータイプの利用施設も供用4年目となり、利用者への周知に伴い昨年を上回る勢いで順調に利用数を伸ばしている。 ・昨年に比べ、イベント実施回数を増やすことはできなかったが、天文や木工に関係するイベントを定着させることができた。	創意工夫された自主事業が実施されており、施設の設置目的に寄与している。	B
職員・管理体制	・常勤職員5名、非常勤4名。 ・常勤職員の対応業務向上に取り組むつつ、要員体制の均一化を図ることを重要課題として試みている。冬季閉園期間中の事業計画、および職員配置が課題であるが、検討を進める。	仕様書及び事業計画書に基づく職員配置が行われており、繁忙期には柔軟な対応をしている。	B
収支状況	全体収入84,188千円に対し、支出83,916千円。利用者増に伴い収入増および設備導入により支出増となったが、収支バランスを堅持。さらに要員体制の見直し(冬季)と、老朽化により修繕対応への経費確保が必要とされる。	利用料収入の増加と経費削減の努力は評価できる。引き続き、多彩な自主事業の実施等を通じ、施設の提供のみではない、特色ある公園サービスの提供を目指していただきたい。	B
総合評価	利用者増で好調であった昨年度(H27)に引き続き今年も好調であった。今後はこれらの利用者増に対応すべく、受入体制の充実強化が急務であり、より細やかな利用者サービスを心掛けたい。	仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。	A

- <評価区分>
- A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 - B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 - C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 - D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題となっている老朽化による施設の修繕対策について、平成26年度より遊具、供用施設(外壁・屋根塗装など)について修繕が順次実施されつつある。しかし提供サイト内の芝の補植など改善措置が追いついていない現状であり、根本的に下地が芝生で良いのかを含めて検討する必要がある。 ・また今後予想される突発的な大規模修繕に対応できるような準備金制度を設ける必要性を強く感じる。 ・従事職員の育成、冬季閉園期間中の雇用確保のため事業展開が課題である。 ・引き続き長期的な展望を踏まえ公園全体の方向性を公園関係者相互で協議していくことが重要であり、本公園に望まれているサービスの向上と施設づくりについて意見の集約を計り、これに基づいた施設整備・維持管理の方針を示していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕等が必要な箇所については、実態を踏まえて計画的に対応していきたい。 ・本公園に望まれているサービスの向上と施設づくりについての情報交換を公園関係者で定期的に行い、サービス向上に努めたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:平成26年11月17日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
立地的なことから県外利用が大半を占めており、県民利用の向上が求められること、また周辺の観光施設への経済効果を示すなど、県営公園としてその存在意義についても意識し説明できるように。	公園来訪者の実態把握に努めると共に、県内への広報促進、また村内および周辺町村の観光施設の利用率について調査し、その経済効果についても把握する試みを検討し、実施していきたい。	県民利用の向上が図られるよう、県のホームページ等を通じて、PRに努めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを宿泊者以外の公園への日帰り利用者も含めて幅広く実施することにより利用者満足度を把握することが必要である。 ・広報についてSNS等を利用した効率的な情報発信の促進、および幅広く利用者からの意見聴取に心掛ける必要あり。 	平成27年度末に待望のホームページの更新を実施。より画像を取り入れることにより、わかりやすい施設案内に努めた。幅広く利用者の声を集約すべくweb上でのアンケート取組を開始した。	幅広く利用者の意見が聞けるよう、アンケート方法等を工夫し、ニーズを把握し、利用者の満足度向上に努めていただきたい。
トレーラーハウスの導入など自主事業についてもさらに積極的に行うとともに、イベント開催回数を増やし、内容の充実を図られたい。	昨年度よりイベント実施回数を若干増やして開催し、参加人数も増加。さらに継続して夏季シーズン以外にもイベントを積極的に実施計画し、集客に結びつけたい。	自主事業を積極的に行い、公園利用者の増加に努力していただきたい。